

●村川家文書1

絵図書き込み

①（上部が欠損していて、各行の上部の文字不明）

■まわり三拾里程と

■先かと相尋海上相

■申候是より竹嶋へは

■程二而■可御座候鉄砲

■と御座候所へ舟を着候得者

市相当申候

②

松嶋之図別紙有リ此図

少々相違有之詳ハ可見

別図委細少々之小濱

小谷迄書記ス

②

此図者下書二而御座候故少々書法

并所氣賦不調法不存候大坂浦と

申候者本図二ハ竹嶋之前松嶋之

右二御座候様覚申候、追而引合

相違御座候ハ、相書添可申候、此外

違候所も無之様相見候

本書之図と申候ハ古谷伊兵衛殿

方ニ御座候を写申候ニ御座候、是ヲ

御公方様へも差上候旨候、其所

■浦嶋之様成少々之相違者

今又私方舟子水主ニ相問委

書載申置候

享保九辰ノ年写置

④（「竹嶋の北東端」）

此所まのしまの外

ましまと申所御座候

鉄砲居場